

日本家庭科教育学会 2012(平成 24) 年度例会

日本家庭科教育学会
会長 大竹 美登利

日本家庭科教育学会 2012 年度の例会を下記の要領で開催いたします。
会員の皆様、どうぞ多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

日時：2012 年 12 月 1 日(土) 13:00～17:00 (受付は 12:30 から)

場所：日本女子大学

- * 東京メトロ副都心線「雑司ヶ谷」駅下車 徒歩 8 分
- * 東京メトロ有楽町線「護国寺」駅下車 徒歩 10 分
- * JR 山手線目白駅下車 バス 5 分, 徒歩 15 分

タイムスケジュール

| | | |
|-------------|-------------|--------------------------|
| 受付 | 12:30～ | 香雪館 5 F |
| 研究発表 | 13:00～15:00 | 香雪館 5 F (501・502・503 教室) |
| 基調講演・シンポジウム | 15:10～17:00 | 香雪館 5 F (501 教室) |

理事会 10:00～12:00 (新泉山館 会議室 3)

地区会代表者会議 17:15～19:00 (新泉山館 会議室 3)

- ★研究発表の発表者でパワーポイントご使用の方は、12:30 から 13:00 までの間に各会場にてデータのインストールを行ってください。
- ★口頭発表の時間は 15 分、質疑応答の時間は 5 分です。
- ★口頭発表のための資料は、パワーポイントおよび印刷物とします。

I. 研究発表 (13:00～15:00)

第 1 会場 (5 階 501 講義室)

座長：永田 智子

- 1-1 京都府立高等学校男女共修家庭科実践史研究 井上えり子(京都教育大学教育学部)
—資料保存と府立研究会の組織体制について— ○田中 任代(京都教育大学(院生))
- 1-2 男女共修をめぐる戦後の韓国教育課程改訂による 〇鄭暁静(東京学芸大学連合学校教育学研究所(院生))
中学校技術・家庭科の変遷 大竹美登利(東京学芸大学教育学部)
- 1-3 ジェンダー平等に向けた高校家庭科の学び 〇森田美佐(高知大学教育学部)
—自治体調査の考察を通して—

座長： 野中 美津枝

- 1-4 家庭科教諭・養護教諭・栄養教諭の連携に関する検討 ○青木香保里(愛知教育大学)
荒井眞一(札幌大谷大学)
- 1-5 「人とかかわる力」の育成を重視した家庭科授業開発 ○吉村祐美(福井県立小浜水産高等学校(非))
荒井紀子(福井大学教育地域科学部)
大嶋佳子(福井県立福井農林高等学校)
塚倉知美(福井県立福井農林高等学校)
- 1-6 脳システムを利用した家庭科の情報化に関する研究 ○長山知由理(お茶の水女子大学生生活科学部)

第2会場 (5階 502 教室)

座長： 渡瀬 典子

- 2-1 ESD としての家庭科の構成概念の検討 ○妹尾理子(香川大学教育学部)
西原直枝(聖心女子大学文学部)
佐藤裕紀子(茨城大学教育学部)
井元りえ(女子栄養大学栄養学部)
大矢英世(桐朋中・高等学校(非))
加賀恵子(静岡大学教育学部附属浜松中学校)
佐藤典子(郡山女子大学家政学部)
志村結美(山梨大学大学院教育学研究科)
榎府暢子(東京大学教育学部附属中等教育学校)
新實五穂(お茶の水女子大学生生活科学部 (非))
- 2-2 ESD としての家庭科の現状と課題
—家庭科教員対象予備調査を踏まえて— ○志村結美(山梨大学大学院教育学研究科)
妹尾理子(香川大学教育学部)
西原直枝(聖心女子大学文学部)
佐藤裕紀子(茨城大学教育学部)
井元りえ(女子栄養大学栄養学部)
大矢英世(桐朋中・高等学校(非))
加賀恵子(静岡大学教育学部附属浜松中学校)
佐藤典子(郡山女子大学家政学部)
榎府暢子(東京大学教育学部附属中等教育学校)
新實五穂(お茶の水女子大学生生活科学部(非))
- 2-3 小学校家庭科へ持続発展教育(ESD)を導入した
授業実践
—「ご飯とみそ汁」における授業内容と指導法— ○福丸奈津子(鹿児島大学附属小学校)
日高佳菜(鹿児島大学附属小学校)
齋藤美保子(鹿児島大学教育学部)

座長： 松岡 英子

2-4 格差社会における生活経営に対応した
高等学校家庭科カリキュラムの開発

○藤田昌子(愛媛大学教育学部)
中山節子(千葉大学教育学部)
松岡依理子(大阪成蹊短期大学)
若月温美(千葉県東葉高等学校)
坪内恭子(東京都立大江戸高等学校)
中野葉子(東京都白百合学園中学高等学校)
大竹美登利(東京学芸大学)
富田道子(東京学芸大学(非))

2-5 中学校家庭科における消費者教育の
授業実践とその評価

○栗原恵美子(お茶の水女子大学附属中学校)
馬場由子(白百合女子大学(非))
和田早苗(茨城大学(非))

2-6 給与明細書における社会保険料控除の理解

○神山久美(名古屋女子大学家政学部)

第3会場 (5階 503 教室)

座長： 入江 和夫

3-1 中学生の調理技能・技術の実態
—1970・80年代と比較して—

○浅井直美(東京都江戸川区立南葛西第二中学校)
石井克枝(千葉大学教育学部)

3-2 聴覚特別支援学校中学部の調理実習における
デジタルポートフォリオの活用
—レシピカードと調理場面の動画に着目して—

○有友愛子(筑波大学附属聴覚特別支援学校)

3-3 服飾教育と流行
—「衣生活論」における授業方法向上を目指す取
り組み—

○羽根裕子(名古屋文化短期大学)

II. 基調講演・シンポジウム (15:10～17:00)

会場：香雪館 5 F (501 講義室)

東日本大震災と家庭科教育

—食の安全と放射線—

基調講演

「内部被曝と食の安全」

矢ヶ崎 克馬 氏 (琉球大学名誉教授)

講師プロフィール

1943年東京生まれ。広島大学大学院理学研究科単位取得満期退学。理学博士(広島大学)。琉球大学理学部教授、琉球大学学生部長など歴任。2009年、琉球大学定年退職。2003年より、原爆症認定集団訴訟で「内部被曝」について証言。2011年5月衆議院 科学技術特別委員会、放射能の健康影響についての参考人、参議院予算委員会参考人。2012年久保医療文化賞受賞。著書『隠された被曝』新日本出版社、「内部被曝」岩波ブックレット等。

シンポジスト

大矢 英世 氏 (桐朋中学校・高等学校教諭)

鈴木 智子 氏 (立川市立けやき台小学校教諭)

コーディネーター： 矢野 由起 氏 (滋賀大学教授)

〈 講演・シンポジウムの趣旨説明 〉

2011年3月11日の東日本大震災では、地震や津波だけでなく福島第一原発事故によって、放射能被曝への対応も求められている。放射能被曝の影響は、外部被曝と内部被曝があり、全国的にみれば、主として呼吸または飲食による内部被曝が問題となる。本講演とシンポジウムでは、食の安全を内部被曝との関連で理解を深め、家庭科教育でどのような実践ができるかを考える場としたい。

多くの会員の皆さまの参加をお待ちしております。

参加費： 正会員 1,800円 学生会員 1,000円
非会員 2,000円 学生非会員 1,500円

上記に関する問い合わせ先： 日本家庭科教育学会事務局

〒112-0012 文京区大塚 4-39-11 仲町YTビル3階

Tel & Fax 03-3942-7885

E-mail kateika@amethyst.broba.cc